乾式タイプ低圧LCユニット

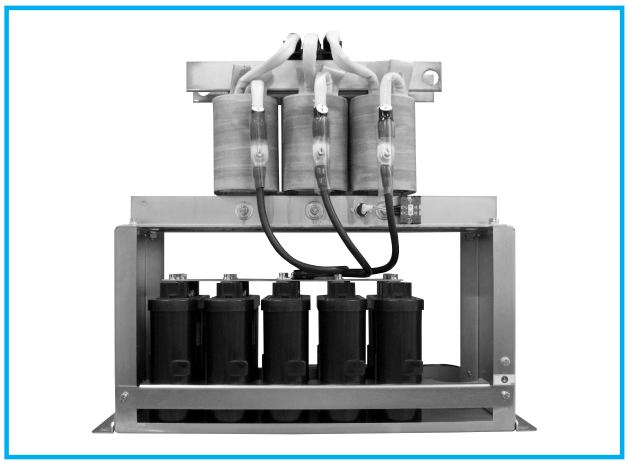
LCユニットとは　進相コンデンサと進相コンデンサ用直列リアクトルを一体化させた進相コンデンサ設備です。パッケージ化されているため、コンデンサとリアクトルを個別に設置するよりも省スペースで設置が可能です。

L=6 %対応品

特 長

(1)コンデンサは乾式モールド形、直列リアクトルはH種乾式品を使用していますので、火災に対しても安全性の高いものとなっております。

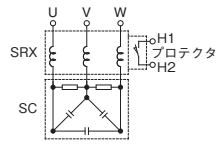
(2)直列リアクトルは高調波耐量をアップしたL=6%の許容電流種別Ⅱ（I_5=55%許容品）を標準装備し、高調波抑制対策に有効な設備とするとともに、温度プロテクタを標準装備し、高調波電流による過負荷時にはこれが動作します。



規格・性能および標準定格

設置場所	キュービクル内、標高1000 m以下
周囲温度	−25～+45 ℃（24時間平均35 ℃以下、1年間平均25 ℃以下）
最高許容電圧	定格電圧の110 %（24時間のうち8時間以内）
最大許容電流	定格電流の130 %とする。ただし、第5調波を含む場合はその含有率が基本波に対して55 %以下の合成電流の実効値であること。（許容電流種別Ⅱ）
放電性	回路により開放後、コンデンサの残留電圧を3分間で75 V以下にします。
相数	三相
周波数	50 / 60 Hz
定格電圧	220 V
定格設備容量	定格寸法表参照
コンデンサ	乾式、放電抵抗内蔵保安機構付
直列リアクトル	リアクタンス6 %許容電流種別Ⅱ：第5調波55 %許容品、H種乾式、プロテクタ付
準拠規格	JIS C 4901（2013） JIS C 4901（2013）附属書JA準用

内部結線図



SRX：直列リアクトル
SC ：コンデンサ

異常温度上昇保護用接点（プロテクタ）仕様
接点動作 設定温度にて閉（常時開路：a接点）
接点定格 100 VDC 0.1A
110 VAC 3A
220 VAC 3A

防振ゴムをご使用される場合は、品番「Y1ZKEA4009」にてご用命ください。
※設置環境は設計用標準震度1.0G（鉛直方向は0.5G）、地域係数1.0の条件とします。
※LCユニット1台につき、4個必要です。

寸法図（mm）

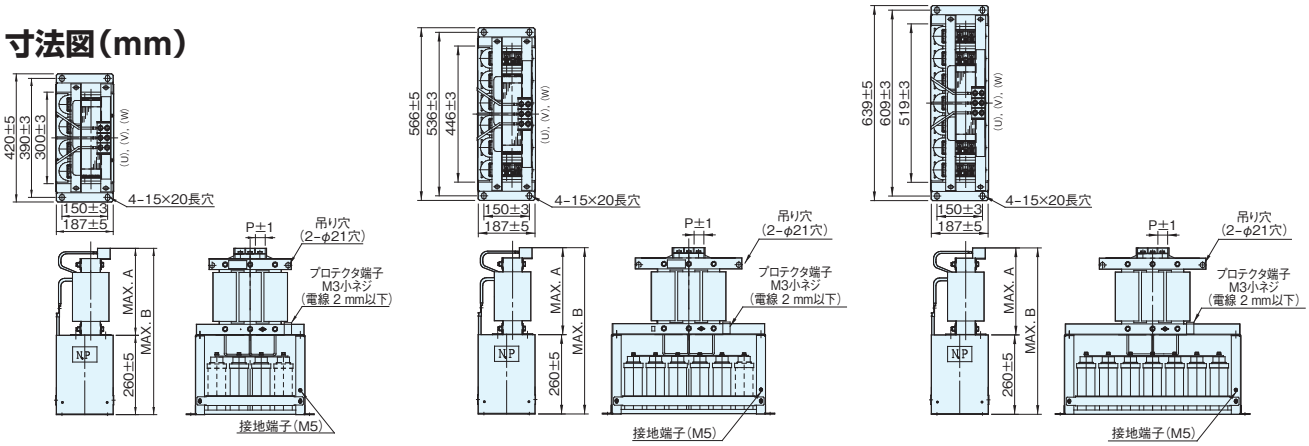


図 1　図 2　図 3

定格寸法表

L=6 %対応品　**200 V級（屋内用）**　許容電流種別Ⅱ（第5調波55 %許容品）　予備銘板付

品番	定格設備容量 (kvar)	回路電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格電流 (A)	寸法 (mm) A	B	P	主回路端子ネジ	コンデンサ使用数	概略質量 (kg)	図
CL221100KDC03	10	220	50	26.2	190	455	17.2	M6	2	23	1
CL221150KDC03	15			39.4	215	480			3	29	
CL221200KDC03	20			52.5	255	520			4	36	
CL221250KDC03	25			65.6	265	530	22.3	M8		38	
CL221300KDC03	30			78.7	285	550			5	42	2
CL221500KDC03	50			131	315	580	29.0	M10	7	61	3
CL221120KEC03	12		60	31.5	190	455	17.2	M6	2	23	1
CL221180KEC03	18			47.2	215	480			3	29	
CL221240KEC03	24			63.0	255	520	22.3	M8	4	36	
CL221300KEC03	30			78.7	265	530				38	
CL221360KEC03	36			94.5	285	550	25.0		5	42	2
CL221500KEC03	50			131	315	580	29.0	M10	6	58	

(注)1. 直列リアクトルは異常温度上昇保護用接点付となっています。焼損防止のため必ずこの接点をご使用ください。
2. 据付は水平面に正立取付で設置してください。平面が出ていないと騒音の原因となります。
3. 据付は振動等を考慮し、床面に設置されることを推奨します。
4. 本品を吊り上げる際、吊り穴（2箇所）を使用して吊り上げてください。
5. 本品は回路電圧220V以下でも使用可能ですが、その場合は容量が変化します。変化後の容量計算方法は12頁をご参照ください。